

先進農家派遣研修の農大生を激励

先進農家派遣研修の農業大学校2年生を訪問し激励しました

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 9 月 8 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

9月1日から30日まで、山口県立農業大学校では、2年生を対象とした「先進農家派遣研修」が県内各地で実施されています。研修期間は1か月間で、この間、大学生活では経験できない「現場」での貴重な体験が得られるような目的となっています。

下関農林事務所管内では、今年度は4名の研修が行われており、うち2名が畜産学科(酪農専攻1名、肉用牛専攻1名)の学生です。

今回、日常の巡回業務で研修先の2農場を訪問し、研修中の農大生を激励しました。農大生2名は、やや疲れた様子はありませんでしたが、ともに元気で研修していました。

管内では、乳用牛は県内の頭数の約半数が飼養されており、また、肉用牛も子牛生産を主体とする県内第2の産地です。しかしながら、高齢化のため、年々戸数の減少が止まりません。

下関農林事務所畜産部では、新規担い手の確保のため、こうした農大生の研修を側面から積極的に応援しています。



(有)佐々木牧場での研修



豊田あぐりサービスでの研修

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018